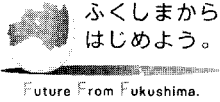


# 教育 広報

# いわき

編集発行  
福島県教育庁  
いわき教育事務所  
発行責任者  
折笠文昭  
編集協力  
いわき市教育委員会



## ふくしまの復興・再生 ～こころ豊かなたくましい人づくり～

### 生き生きと学ぶ子どもたち(理数教育充実事業)

「ふくしまの未来を担う子どもの育成ーふくしまの未来を拓く理数教育充実事業」として、昨年度に引き続き「小学生算数・理科講座」「算数・数学ジュニアオリンピック」を開催しました。

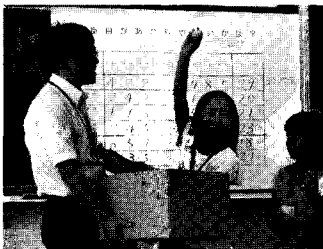
#### 【小学生理科講座・小学生算数講座】

今年度はいわき明星大学を会場として、8月20日(火)に小学生理科講座、21日(水)に小学生算数講座を開催しました。

理科講座では、県内の小中学校において理数教育で活躍しているコアティーチャーや明星大学の先生方・学生たちの指導を受けながら、エネルギーに関する学習を行いました。発電の仕組みを目で見て学んだり、実際に自分の体温や手の動きで電気を作る様々な実験を行ったりして、楽しみながら科学に対する見方や考え方を深めました。



実験に取り組む子どもたちの真剣なまなざしには、未来の「ふくしま」を担う人材としての頼もしさを感じました。これからも科学に親しみ、科学を楽しんでほしいと思います。



また、算数講座では、コアティーチャーや福島大学の学生たちとともに、4年生は空間図形、

5年生は確率の問題、6年生は拡大図について、それぞれ算数的活動を通して、楽しみながら学びを深め、図形や数量に対する感覚を磨きました。それらの授業を通して、数学的な見方や考え方を育てることができました。この講座で培った思考力を、日頃の授業の中でも存分に発揮してくれる

ことを願っております。

#### 【算数・数学ジュニアオリンピック】

10月27日(日)に、いわき合同庁舎を会場に開催しました。小学生161名、中学生30名が算数・数学の難問に挑戦しました。

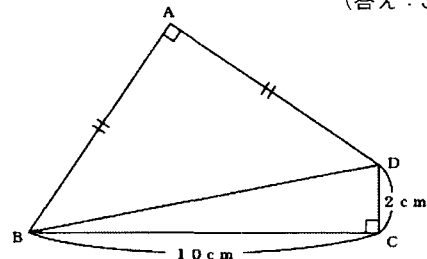
今年度は、小学生の参加が昨年度と比較して倍増するとともに、学校によっては、事前勉強会の実施などの取組みも見られ、すばらしい成果がありました。

来年度もより多くの児童生徒の皆さんがチャレンジできるよう、ご指導をお願いします。

#### ～算数ジュニアオリンピックの問題の一部を紹介します～

【問題】次の図の四角形ABCDの面積を求めましょう。ただし、三角形ABDは直角がある二等辺三角形、三角形DBCは直角三角形、辺BCの長さは10cm、辺DCの長さは2cmです。

(答え：36cm<sup>2</sup>)



- 金メダル● 安倍 昂汰 (勿来一小)
- 銀メダル● 藤田笙一郎 (湯本三小)
- 櫛田 豊 (勿来一小)
- 中村 元気 (中央台北中)
- 銅メダル● 永島 梨乃 (郷ヶ丘小)
- 戸井田凌征 (錦小)
- 會田 裕樹 (平五小)
- 須藤 楓 (中央台東小)

## 情熱と配慮

いわき教育事務所長

折笠文昭



初任の学校でサッカー部顧問をしていた1年目の冬のある日、ある2年生部員が、「先生、僕サッカー部やめます」と何の前触れもなく突然退部を申し出てきました。

事情を尋ねても、なかなか理由を言わないので、別室でじっくりと教育相談を行いました。よくよく話を聞いてみると、どうも冬の練習に馴染めないのと雪や泥で汚れた練習着等の洗濯物を母親に出すのを躊躇していたのが原因らしいのです。

初任の学校は寒い地域にあり、冬期間に校庭に降った雪が根雪になるほどでした。サッカー部顧問担当に任せられた私は、部員の要望もあって、冬も週数回は外で練習を行うようにしていました。スパイクだけでは、体の熱で濡れてしまいますので、長靴またはスパイクにビニール袋をかぶせたり、体が冷えないように動きを止めないようゲーム形式で練習したりと工夫して行っただけでした。新雪が積もれば、トレーニングの一環として部員と一緒に雪かきをして、少しでも地面が見えるようにして、ボール感覚を忘れないようにという思いから環境整備にも力を注ぎました。一年中校庭が使える暖かい地域にあるチームの選手と同じように技術を習得させる



には、同じような環境を作ってやるのが顧問としての使命であると思込んでいたのです。また、部員も全員思いは同じであると信じ込んでいました。

それ故に、生徒から退部を申し出られたときはかなり落ち込みました。

「地域の実態に応じて」とか、「一人一人の児童生徒に配慮する」等教育の世界ではよく使われますが、当時は、頭で分かっているつもりでも実際はどうだったのかと反省しきりです。画一的に全員が同じことなどあり得ません。

最初から、練習内容や方法について、部員にはもちろん保護者にも十分説明して理解を得た上で実践すべきでした。

その後、指導者研修会や強豪チームの監督さんを通じて、空いている体育館等の狭いスペースでできる練習法を学ばせていただいたり、ボールを使わないで行う練習法を工夫したりして、気象条件に影響されないような練習方法と内容を取り入れて、負担にならない形で行いました。また、部員や保護者への説明を十分に行うことや、了承を得ることを意識するようになりました。

県教育委員会では、少人数教育を推進しておりますが、そのねらいの1つに、個に応じたきめ細かな指導があります。

個への配慮はどんな場面でも大切です。

### 総務社会教育だより

#### 《地域防災力向上支援プログラム》

この事業は、今後の災害に備え、市町村における防災体制整備を側面から支援することを目的として、9月17日(火)に「基礎編」として、講演会や事例発表、11月25日(月)に「実践編」として、災害時の避難所運営のシミュレーションの演習等を行いました。

公民館職員を中心とする社会教育関係者が協力して防災に対する知識や理解を深め、地域の防災力の強化に努めるとともに演習等の活動を通して地域の防災体制について確認しました。

#### 《地域家庭教育いわきブロックセミナー》

9月10日(火)中央台公民館で、いわき明星大学教授 菊池真弓先生を講師に招き、「子どもたちの生活習慣の向上と実践～家庭で取り組む実践キャッチフレーズをつくろう～」のテーマで、講義・演習を実施しました。約30名の参加者全員(母親委員)が各家庭における課題を明らかにし、「おはよう朝のあいさつにっこり」となど、それぞれキャッチフレーズを作成し、家庭に持ち帰りました。



## 「豊かなところ」をはぐくみます (ふくしま道徳教育推進プラン)

### ○道徳教育推進校の実践～小名浜第三小学校～

今年度推進校となった小名浜第三小学校は、いわき市小学校教育研究会の研究指定校（道徳）でもあり、授業研究を進めるとともに、ゲストティーチャーを招いた研修会などを通して研究成果の波及に努めています。

#### 1 研究主題

「あたたかなかわりを通して、自他を認め合い、豊かな成長が実感できる児童の育成」

#### 2 主な研究内容

- (1) 魅力的で多様な授業の展開
- (2) あたたかなかわりをつくる体験活動の工夫
- (3) 家庭や地域社会との連携

### ○「ふくしま道徳教育資料集」

「ふくしま道徳教育資料集 第Ⅰ集 生きぬくのち」を県内全小・中・高校に配付し、活用をいただいております。

この資料集は、道徳の資料であるのはもちろん、震災の記録の資料としての価値もあることから、県外からも高い評価を



資料集を活用した授業(小名浜三小)

いただいております。ぜひご一読いただき、各校でのなおいっそうのご活用をお願いいたします。

なお、現在、来年度に向け、「第Ⅱ集 敬愛・つながる思い」を作成中です。

## 学力向上推進支援事業について

### ○「定着確認シート」

短いサイクルで学習定着度を確認し、個に応じた指導の充実及び指導の改善をねらいとしています。今年度は、①単元テストとしても活用できるようにシート問題を改定、②各問ごとの正答者数を入力するだけで自動的に県との比較ができるグラフを表示、③過去3年間の問題が活用可能、等の改善がされ、益々使いやすくなりました。計画的な活用により学力向上に生かしてください。

### ○「福島県学力実態調査」

本調査は、全国学力・学習状況調査と関連づけながら、授業改善を柱とする学習指導全般の改善・向上を図るためのものです。各学校では、過日公表されました調査結果を詳細に分析して、自校の課題を明確にして指導方法の工夫改善に取り組むとともに、フォローアップシートや定着確認シート等の活用を図りながら、学力向上に向けて組織的な対応を行ってください。

### ○「学校・教職員のニーズに応える要請訪問」

授業研究会への参加だけでなく、講師・初任者・経験者研修への個別指導や校内研修の相談、指導案作成への助言、特別支援関係の研修会の企画や個別の指導計画の見直しなど、学校現場のニーズに応じた支援を進めています。要項等は不要です。お気軽に要請をかけて頂きたいと思います。

## 管理担当より

学校事故防止に向けた取り組みをお願いします。

### ■冬季間の交通事故防止に万全を

- 法定速度を守っていますか。
- 時間にゆとりをもって通勤していますか。
- 車間距離を十分にとって運転していますか。
- 普通タイヤで大丈夫だと過信していませんか。

### ■学校火災事故防止に万全を

- 日々の巡視確認は確実にできていますか。
- 安全点検、防火診断はマンネリ化していませんか。
- 火気始末の重層チェックはできていますか。

### ■個人情報の管理に万全を

- 校内規定に従って個人情報を扱っていますか。
- 個人情報を、学校外へ持ち出していませんか。
- 個人パソコンに、個人情報は残っていませんか。

## 募集 教員免許等お持ちの方をご紹介します!

平成26年度、いわき市内の公立学校（小・中学校、高等学校）の臨時的任用教職員及び非常勤講師の希望者を募集しています。

### ○区分

- ①臨時的任用教職員 ②非常勤講師

### ○内容

- ①欠員補充や産前産後休業、育児休業、退職等の代替のために、臨時的に勤務する常勤の講師及び養護教諭、事務職員、栄養職員  
②あらかじめ定められた教科の授業を行う等の非常勤の講師

問い合わせ先/いわき教育事務所管理担当  
☎0246 (24) 6216



### 学びをつなぐために

いわき市立沢渡小学校  
教諭 馬目なぎさ

「そろそろ水槽を洗った方がいいんじゃない。」  
「でも、この緑色の藻があるからメダカは元気なんだよね。」  
「ああ、そうかあ。」

理科は、授業で学習したことが日常生活の事象とつながった時、子どもたちにとって生きて働く学びとなる教科なのではないかと考えます。

今年1年、「学びをつなぐ」ことをキーワードに、コアティーチャーの先生方と一緒にさまざまな研修を受ける機会をいただきました。教科書で学習することは、自然界で起こる事象のほんの一部で、実際には、いくつもの事象が複雑に絡み合う中でわたしたちは生活しています。授業の構成や実験・観察を工夫していくことで、科学的なものの見方や考え方はぐくみ、学習したことが身近な事象や実生活とつながっていることを子どもたち自ら実感できるように、学びをつなげていけたらと思います。



### 中高交流2年目をむかえて

いわき市立平第一中学校  
教諭 坂本 優

高3のクラス担任から中1のクラス担任へ。私の「中高研修交流」は、「違和感」からのスタートでした。しかし、2年目の現在、中学校勤務にも慣れ、充実した毎日を送っています。校種は違っても、子どもたちの成長をサポートするという点は同じです。むしろ、文字通り「中高交流」という視点から眺めると、両者の密な連携がいかに重要であるかに気づきます。例えば、国語における文語文法について、中学校のカリキュラムを実践することで、高校生の多くが苦手意識を持つ原因やきっかけを知ることができました。学習内容の多さや時数不足を理由にしがちですが、指導法の見直しや新たな教材の開発が必要であると感じています。生徒指導面では、子どもたちの個性や特質を把握し、うまく伸ばしながら高校へとつなげていくことが大切でしょう。2年間の自分の教育活動をじっくり振り返り、その有効な手立てを確立していきたいと考えています。

#### 総務担当より

### 扶養親族における所得額の 確認について(扶養手当関係)

扶養親族が新たに就職した場合や、雇用契約の変更があった場合等には、その収入の金額が「所得限度額」以上でないことを雇用契約書や給与支払証明書等によって確認をする必要があります。

また、月給や時給等が定まっていない等、収入が不安定な場合には、収入実績の3か月間の平均

額により、収入状況を判断することとなります。

なお、雇用契約の変更がなくても3か月以上連続して月毎の収入が「所得限度額」以上であると雇用契約の変更があったとみなされ扶養認定の要件を欠くこととなりますので留意してください。

#### 所得限度額

- (1) 月毎に支払われる給与  
→月額 108,334円
- (2) 年金、事業所得等  
→年額1,300,000円

### 各種表彰 (敬称略)

- ◆文部科学大臣教育者表彰  
片寄 信 (小名浜第一小学校長)
- ◆学校教育功労者表彰  
片寄 信 (小名浜第一小学校長)
- ◆学校保健功労者表彰  
原 晋二 (元磐崎中学校医)  
門馬 功 (汐見が丘小学校歯科医)
- ◆永年勤続表彰 98名  
(小46名 中34名 県立18名)

- ◆わたしが作る朝ごはんコンテスト  
優秀賞 根本 真帆 (中央台東小4年)  
優良賞 植木 七海 (内町小4年)  
学校賞 中央台南小、赤井小、小白井小、泉北小
- ◆県愛鳥週間ポスターコンクール  
県教育長賞 渡邊 秀光 (植田中2年)
- ◆「モラル・エッセイ」コンテスト  
最優秀賞 小野 夏海 (中央台南中2年)
- ◆十七字のふれあい事業  
最優秀賞 田村 晴菜 (久之浜二小2年)  
田村多喜子 (祖母)